

「まちづくりファンド」は、高知市に住むあなたのまちづくり活動を応援します

公益信託高知市まちづくりファンドニュース



# まちファン

41号

2023年10月31日

2023年度公開審査会 2022年度最終発表会



2022年度最終発表会(7/22)と2023年度公開審査会(7/23)が高知市たかじょう庁舎で開催されました。今年も新しい事業に助成が決定すると共に、1団体は3年間の助成を経て卒業となりました。これからも「まちファン」をきっかけにまちづくり活動が広まっていくことを期待しています。

## スマイル ① まちづくりはじめての一步コース 上限10万円

### C1 「カポエイラ」で人づくり、まちづくり

#### CICABK (高知アフロブラジル文化コミュニティ)

私たちはみづき地区において、ブラジルの文化であるカポエイラを通じた心身の健康づくりと居場所づくりを目指して活動しています。

#### スマイル Q1 カポエイラとは?

ダンス、格闘、音楽、芸術など様々な要素が盛り込まれたブラジルの大衆文化です。円陣を組み、中に入った二人が、生演奏の音楽に合わせて疑似格闘を行います。ユネスコの世界無形文化遺産にも登録されています。



▲リズムに合わせて息をあわせて疑似格闘

#### スマイル Q3 参加者は?

多様性を尊重し、全員参加型で取り組むのがカポエイラです。年齢、性別、身体能力を問わず、誰でも参加することができます。楽器を演奏したり歌を歌ったりするだけの参加や見学のみも大歓迎です。



▲大人も子どもも一緒に全身で動きます



#### スマイル Q2 どこで開催している?

練習は週2回(金曜夜と、土曜または日曜の午前中)、みづきコミュニティセンターで行っています。

ブラジル発祥のカポエイラ、楽しいですよ。一緒にいかがですか?

#### スマイル Q4 活動を始めたきっかけは?

20年間の海外生活を経て、2021年にUターン帰高しました。カポエイラ歴は20年以上で、高知での普及を考えていたところ、みづきコミュニティセンターを使用させてもらえることになりました。助成金でホール使用料を賄うことができ、大変感謝しています。近所の方が気軽に参加し、地域活性化につながることを期待しています。



代表 上岡 弥生さん

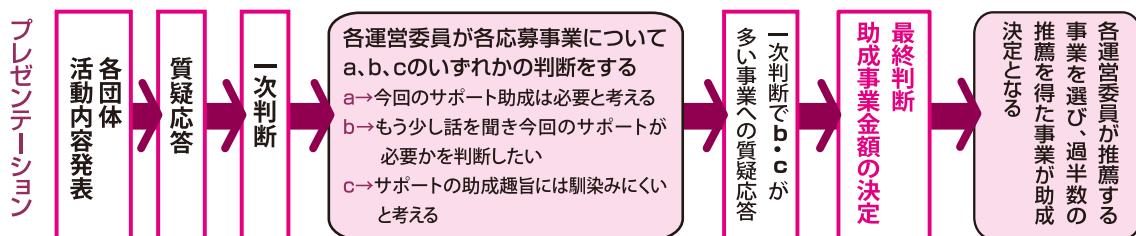
●応募状況

	【A】学生まちづくり	【B】ふくしまちづくり	【C】まちづくりはじめの一步	【D】まちづくり一歩前へ	【E】まちづくり拠点整備
応募事業数	0 事業	1 事業	4 事業	5 事業	1 事業
採択事業数	0 事業	1 事業	4 事業	5 事業	1 事業

●A・B・Cコース

事前の書類審査・運営委員との質疑応答を経て、運営委員会で助成団体が決定

●D・Eコース



▲高知市まちづくりファンド名物ふせん貼り



●Bふくしまちづくりコース 上限  
10万円

B1



おもちゃの広場(おもちゃと遊びの交流サロン)

こうちあそびマルシェ

遊びをきっかけに親子のコミュニケーションや地域の人々の交流を広げていくことを目的としています。今年度は、対象を小学生まで拡げて、長期休暇の際には、ものづくり体験(木工・工作)が出来るワークショップ等も計画しています。今後は、共に活動してくれる学生や一般の方のボランティアを受け入れて仲間を増やしていきたいです。



●Cまちづくりはじめの一步コース 上限  
10万円

(C1 CICABK(高知アフロブラジル文化コミュニティ)はP1に掲載)

C2



身体と心の可動域の向上 体の内面から緊張や疲れを取り除こう

リラクスの集い

身体と心の可動域を向上することにより、内面から緊張や疲れを取り除くことをテーマに活動していきます。アロマやキャンドルライトを用いてヨガを行うことで、感覚器からリラックスすることができます。日常のストレスで疲れがたまっている方々が、再び心身の柔軟性を取り戻し、健やかで可能性のある生活を送れることを目指しています。

C3



自分の畑で野菜作り(Let's Vegetable)

高見山農園

高見山農園は、身近に利用できる多世代を対象とした市民農園です。畑を利用する人々のコミュニケーションの場として、また、野菜教室等の開催により地域の方が交流できる拠点になればと期待しています。現代の子ども達が自然から遠ざかる中、畑や土に触れることで心の落ち着きを取り戻し、生きる力を育てる場となることを目指しています。

C4



食で人と地域をつなぐ(食で地域活性化)

ちいきめしプロジェクト in みませ実行委員会

少子高齢化が進む御畳瀬地区の地域おこしとして、特産品である沖ウルメを使った料理(へう焼き)をアレンジし、ご当地グルメとして開発したいと考えています。今後は、県内各地で開催されているグルメイベントでの販売を通じて、使われている食材の原産地である地域をPRし、御畳瀬に足を運んでもらうきっかけに繋がっていきたくです。



●Dまちづくり一歩前へコース 上限  
30万円

D1



種崎地区を元気にしたい!

パーカッションバンド「エスペランサ」

初開催から7回目になる「元気になるコンサート」ですが、今年は、本物の音楽を体験していただきたく、「片倉真由子氏」「堀江真美氏」を迎え、三里文化会館で開催します。最近、キャンプやバーベキューなどで種崎千松公園もにぎわっており、そういった他地域から来られた方も、是非参加していただきたいと思っています。

D2



## 仁ノ八幡宮の祭りを盛り上げ町を元気にしよう

### 仁ノ八幡宮保存会

今年は、秋祭りの募集(短歌・絵馬)対象を小・中学校に拡大し、公募数を増加させたいです。最近、祭りを盛り上げることで、地域住民の関心度が活性化されていることが実感できています。これからは、昨年新設された集落活動センターとの相乗効果も生んでいきたいと思っています。また、2月に梅見会の開催も検討しています。

D3



## 世代間交流のできる居場所づくり

### 一般社団法人地域学校協働・家庭教育支援・世代間交流センターもうひとつの大きな家族

潮江南地域にある子ども食堂・地域サロン「ほっと笑」を拠点に、世代間交流を促すため、小中学生を対象としたイベント(お弁当作り・クリスマス会・ものづくり等)を行っていきます。また、ボランティアで来られている、高校生、大学生とのコラボを進め、キャリア教育の一環として事業を一緒に作り上げていきたいと考えています。

D4



## アート×イトで!未来子育て環境を整えよう

### FFC高知(フーズフォーチルドレン高知)

親子で食と遊びの大切さ、楽しい美味しいを体験することで、仲間づくりに繋げ、助け合うコミュニティを作りたいと考えています。また、食の安全性を周知する為のオーガニック給食フォーラムを開催します。今年で本コース3年目になります。子どもと母親はもちろん、父親や高齢者も参加しやすいイベントを計画しています。

D5



## 地域で楽しむ大人バレエ

### 高知プリマ会

「大人バレエ運動(週1回)」と「サークルの集い(月1回)」の2つを事業の柱としており、ともに春野町平和公民館で開催しています。大人バレエを無理のない形で仲間と楽しむことに加え、クリスマス会や新聞バック作り、バレエメイク体験などを通じて交流を図り、地域の人々とのつながりが出来ればと考えています。



## E まちづくり拠点整備コース 上限100万円

E1



## 浦戸地区にぎわいづくり拠点整備事業

### 浦戸まちづくり連携協議会

実施した住民アンケートの結果をきっかけに、様々な人が利用できる地域の「交流の拠点」を整備することとなり、東南浦公民館を改修することになりました。地域住民の有志や子供たちで、椅子や机の制作、外壁の塗装、ピザ窯の設置等を行います。助成金は、今後、高齢者や女性も使用しやすいように、トイレの改修費用に利用します。

## ●公開審査会を終えて

### ●運営委員長

増田 和剛  
高知中・高等学校



まちづくりをはじめに当たり必要なことは、活動の認知度を高めるためのプロモーション活動やマネジメント力、魅力を高めるためのブランディングづくりといった一つ一つの動きをデザインするチカラが、まちづくりを創造するために必要なチカラだと実感しました。

### ●副運営委員長

堀 洋子  
公益社団法人高知県建築士会



今年度まちづくり拠点整備コースで審査員の判断に苦慮した応募がありました。本来公的な資金で整備することが望ましいと思われませんが、整備補助金等の対応できる項目がなく当ファンドに応募されました。内容等を審査し、地区広域で高齢化地域に若者・子供と取り組む活動と自動整備を評価し助成する事になりました。

### ●運営委員

高橋 鉄昭

高知市社会福祉協議会土佐山健康福祉センター



公開審査会では発表する方の緊張感がヒシヒシと伝わってきますが、審査する側としても、同様の気持ちで発表を聞かせてもらっています。特に厳しめの判断を考えている場合はなおさらです。今回は厳しい質疑応答もありましたが、全ての団体が助成対象となりましたので、これからの事業展開を楽しみにしています。

### ●運営委員

山本 直子  
聖建築研究所/ギャラリー樹下の舎



運営委員としては初めての審査会でした。印象的だったのは、それぞれのフィールドでまちづくりに取り組む団体さん同士が連携していることです。このファンドに、単に助成で支援するだけではない役割があることに気づきました。

### ●運営委員

吉本 怜  
高知工科大学(経済・マネジメント学群)



今年の公開審査会を終えて私が思うことは、まちづくりファンらしい公開審査だったという事です。応募団体の熱意を聞き助成を審査し、対面しているからこそ伝わる熱量が今年の公開審査会にはあったと思います。





# 助成団体 最終発表会



## 👤 B ふくしまちづくりコース 上限 10万円

### B1 世代間交流のできる居場所づくり

一般社団法人地域学校協働・家庭教育支援・世代間交流センターもうひとつの大きな家族  
助成を受けて、地域に根差した世代間交流のできる居場所づくりのスタートを切ることができました。活動を続けるうちに、高校生や大学生のボランティア参加もあり、実習や授業の一環で企画・運営を担う動きも出てきました。また、他団体と連携・協働することで、利用者の要望に沿った活動も展開できるようになっています。

### C2 地域で楽しむ大人バレエ

#### 高知プリマ会

定期的なバレエ運動により、参加者にとっては身体を動かす大切さを知り、生活リズムが整う機会となったように思います。年齢や生活環境の違う方達が同じ場所に通い、一つの作品を作り上げることにより、その楽しさを実感し、仲間意識が生まれたようにも感じました。皆さまに助けられ、1年間活動を続けられたことに感無量です。

## 👤 C まちづくりはじめての一步コース 上限 10万円

### C1 種崎地区を元気にしたい!

#### パーカッションバンド「エスペランサ」

第6回「元気になるコンサート」を昨年9月に三里文化会館で開催しました。助成金を活用して作成したチラシをスーパーや薬局などに配布した効果で、100名程の参加があり、会場は大いに盛り上がりました。今年度は、他の助成団体から何件か演奏依頼をいただくなど、団体同士のつながりも深まっていくのを感じています。

## 👤 D まちづくり一歩前へコース 上限 30万円

### D1 仁ノ八幡宮の祭りを盛り上げ町を元気にしよう

#### 仁ノ八幡宮保存会

2月に行った春祭りでは、伝統の万葉太鼓や太刀踊りに加え、春野中学校吹奏楽部から初めての参加があり、春祭りのムードを作り上げてくれました。また、集落活動センターのカフェオープンに合わせて行った苔玉教室も大変好評でした。活動を続けることで人々の関心が集まり、協力してくれる人達が徐々に増えていくのを実感しています。



団体が使用する衣装や道具、成果物の展示があり、より活動が身近に感じられました。また、これまでで一番多くの参加者の意見が集まり、活発な意見交換となりました。



良いところや  
質問がたくさん  
寄せられる



いい音出すの  
むずかしいね～



### 卒業団体の声

#### NPO法人キャリア・ライフ高知

[2018、2019、2021、2022年度に助成]

これからも  
頑張ってください



今日のストレスフルな社会情勢のなか「しんどい」と弱音を吐ける「心の居場所」の必要性を感じ、活動を始めました。相談者を大切な存在として共感しながら傾聴することで、自己肯定感を高めて自信を取り戻していただいたと感じています。これからも、誰にも言えず苦しんでいる方や孤独な方の「心の拠り所」として、無料電話相談を続けていきたいと思っています。



### F まちづくりたまごコース

上限  
3万円

#### D2 高知で自作甲冑教室をやろう ～市民が作る市民参加型まちづくり～

##### 高知自作甲冑教室実行委員会

甲冑づくりを通して歴史に親しみ、地域活動を推進することを目的に活動しています。5月の長宗我部まつりでは、武者行列に参加して祭りを盛り上げることが出来ました。また、これまでの繋がりを活かして県外からも多くの方に参加していただきました。今後もメンバーを中心に、「甲冑でおもてなし」が出来るような活動を計画しています。

#### F1 おもちゃの広場 (おもちゃと遊びの交流サロン・木育)

##### こうちあそびマルシェ

おもちゃや、遊びを通じた子育て支援を行い、コミュニケーションの促進や、子どもの感性や想像力を育む事を目的に、朝倉総合市民会館で「おもちゃの広場」を開催しました。親子で参加しやすい場所となったことで、日曜日は父親の参加も多くみられました。今後は、幼児や小学生が興味を広げる場所になるような木育体験も開催したいと思います。

#### D3 無料電話相談 “聴いてもらって安心ホットライン”

##### NPO法人キャリア・ライフ高知

今年度は電話番号が変更になったこともあり、周知の為にチラシ1万枚、名刺サイズのカード3万枚を作成、配布し、広報に努めました。期間中49件の相談があり、相談内容は、家族間の悩み、職場の人間関係、自殺願望など多岐に渡りました。これからも粘り強く地道な広報活動を通じて活動の周知を図っていききたいと思います。

#### F2 花いっぱい運動

##### 桂浜町内会(花いっぱい部会)

11月からパンジーをプランターに植え、2023年からは一部民有地を借用し、芝桜を植えました。今後は継続的な活動にする為に、種から苗育て活用する予定です。近隣の町内会から「いつも花が一杯できれい!!」と声をかけられ、草引きを手伝ってくれる方もおり、他地区の方との交流も図られました。

#### D4 アート×イトで! 未来子育て環境を整えよう

##### FFC高知(フーズフォーチルドレン高知)

期間中で17回のイベントを開催しました。「不登校の子供が遊びに来てくれるようになった」「多世代交流の場になった」など、継続的な活動でまちづくりの効果が実感できています。参加者が運営を手伝ってくれるようになり、子育てママの自主的な会へと進化しつつありますが、まだまだ、企画運営が大変なことが課題です。

#### F3 食で人と地域をつなぐ(食で地域活性化)

##### ちいきめしプロジェクトinみませ実行委員会

ちいきめしプロジェクトとは地域ならではの食材や食べ継がれてきた食を掘り起こし、活用・開発・ブランド化することで地域おこしへとつなげるプロジェクトです。まず、御置瀬地区の食材である沖ウルメを紹介したリーフレットを作成し配布しました。今後は、御置瀬の食文化と食材を活かしたご当地グルメの開発に取り組みます。

# 増田ノオト 最終発表会・公開審査会を終えて — 委員長のつぶやき

「まちづくり」を語るのであればまずは、住んでいる地域を知ることから。地域住人が主体となって地域の魅力を発信することができるネットワークづくりが、まちづくりのはじまりだと考えています。しかし、現実問題としては、少子高齢化による世代交代の難しさや地域のコミュニティーの再構築といった、人のつながりをいかにしてつなげていくかという課題が、どこの地域でも壁となり、活動を停滞させる原因となっています。この課題を解決するためには、地域住人にまちづくりビジョンをイメージで伝えるのではなく言語化し、その上で地域の魅力を体験する。この体験価値を通じて創造性を広げていくことで、まちの魅力再発見にもつながります。

現在のまちづくりは、一昔前のまちづくりと違って「体験」を提供することで魅力の再発見へと導く時代へと移り変わってきています。

そこで、このような多様な時代だからこそできるコミュニティーのあり方や仕組み作りの方法として、まちをブランディングし、興味関心を持ってくれる人を増やしていくための土壌づくりをはじめます。

認知されていない地域の魅力を育て上げるため地域内マーケティング調査も重要になってきます。

そして、その地域のことをもっと知ってもらうためのプロモーション活動も必要となります。

地域で活動されている様々な団体の事業をつなぎ合わせ、協働で行うことで、これまでの限定された人とのつながりから広がりのあるつながり方へと変化が起こり、地域の特色を活かした、地域対応型まちづくりへと転機していくのではないかと期待しています。



## 助成決定！ F まちづくりたまごコース 2023年12/20まで応募受付中！

### F1 小中学生対象に学習支援型キッズサロン

#### チャイルドスマイル高知

子どもたちが安心して過ごせる場として、小高坂市民会館にキッズサロンを立ち上げました。「好きな時間に



帰る」「やりたいことを自分で見つける」をモットーに、子どもたちが心の底から楽しい、次回も来たいと思ってもらえるような居場所づくりを目指しています。

### F2 児童と保護者、地域住民によるアカウミガメの飼育

#### カレッタ (高知市立春野西小学校保護者及び地域住民の有志)

春野西小学校の児童を中心としてアカウミガメの飼育を行います。飼育を通して生命の大切さに気づき、環境意



識や郷土愛を育むことを目的としています。また、保護者や地域住民と一緒に取り組むことで、地域の結束力や教育力の向上にもつながっていきたいです。

### 寄付のお願い

まちづくりファンドは皆様のまちづくり活動を支援する仕組みです。 

まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐（しゅつえん）された基金を毎年取り崩しながら助成しています。少しでも長く市民のまちづくり活動に活かせるよう、多くの皆様のご寄付をお願いいたします。

寄付に関するお問い合わせ・お申し込みは、下記にご連絡ください。

株式会社 四国銀行 コンサルティング部 信託担当  
TEL 088-871-2294（直通）  
〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1

### お問い合わせ

高知市市民活動サポートセンター（月～金 10:00～21:00、土 10:00～18:00） TEL 088-820-1540  
〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階  
E-mail info@kochi-machifun.org https://www.kochi-saposen.net

